

資生堂、「セルジュ・ルタンス」の商標権買取に関する覚書を締結

資生堂は、ラグジュアリー・フレグランスとコスメティックスで知られるセルジュ・ルタンスブランドの商標権買取に関する覚書をセルジュ・ルタンス氏と締結しました。資生堂は当ブランドを次のステージに前進させるべく、プレステージ性を保ちながら、世界の主要都市に順次ブティックを出店するなど、更に投資を強化していきます。ルタンス氏はブランドとグループにとって財産であるクリエイティブ・ダイレクターを継続することに合意しました。彼はブランドの育成もサポートします。

背景

業界ではその独特のクリエイションで名を馳せているフランス人クリエイターのセルジュ・ルタンス氏と資生堂の関係は 1980 年にまで遡りますが、資生堂が欧州市場への進出を成功させることができたのは、ルタンス氏の協力に拠るところが大きいと言えます。

1992 年にレ・サロン・デュ・パレ・ロワイヤル・シセイドー（後にパレ・ロワイヤル・セルジュ・ルタンスに改名）というブティックをパリにオープンし、ルタンス氏をクリエイターとする釣鐘型ボトルのフレグランスの販売を開始しました。1999 年には、角ボトルのフレグランスの販売を開始し、販路を広げ、現在約 35 カ国・2000 店で展開しています。

資生堂とルタンス氏は、ブランドの将来的見地から、互いの強固な関係性を高めていく一方、資生堂が商標権を獲得し、ブランドへの投資を拡充していくことが最善であるという結論に至りました。

セルジュ・ルタンス氏について

1942 年フランス、リール生まれ。1968 年から 12 年間、クリスチャンディオールの一キャップ商品開発のアートディレクターを務めた後、1980 年、資生堂の欧州本格展開時のイメージクリエイションを契機に資生堂と契約。その後、約 20 年間、資生堂のグローバルイメージとビジュアルアイデンティティを担当。